



JHS たより

平成 28 年 3 月 15 日 (15,000 部) 発行

2016.3 Vol.56

観光は平和への
パスポート
国連世界観光年宣言

学校法人日本ホテル学院
発行所/専門学校日本ホテルスクール 〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
一般財団法人日本ホテル教育センター http://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

学生観光論文コンテスト：賞金 100 万円

～観光立国実現に向けて全国の学生を啓蒙～

5 年間に論文 250 本、専門学校・短大・大学 123 校の参加

観光立国に向かう中 ホテル業界は追い風に

校長 石塚 勉

最近、訪日外国人の増加、宿泊施設の不足、民泊、地方創生等々、観光業界に関する報道が増えました。まだ先進国の中で外国人旅行者数は少ないとはいえ、2015 年来日外国人も 1970 万人を超え、経済効果も 23 兆円、その波及効果を含めると 48 兆円と大きな産業へと向かっています。アジア諸国へのビザ規制緩和、円安、富士山や和食など相次ぐ世界文化遺産登録、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催決定などがその主要要因となっています。



これまでの観光政策、2003 年小泉総理の国会での観光立国宣言、2006 年観光立国推進基本法制定、2008 年観光庁設置などの延長上に今日の発展があり、観光業界も主要な産業として注目され、全産業との関連性が配慮されるようになってきました。観光産業の中で中核をなすホテル、レストラン、ブライダルなどホスピタリティ産業も、こうした観光立国に向かう過程で、追い風を受け、全国的に拡大発展の途上にあります。とは言え、先進国の中での観光立国としては、日本が目標とする 2000 ～ 3000 万人の外国人旅行者もまだ少ない数、世界各国の人々が来日したくなるような情報提供と条件整備が求められています。

内外共に国際化する時代にあつて、業界発展の好機を捉え、将来、自分の力量が発揮できるよう、学生時代から充電を心がけ、追い風に乗れるよう、努力しましょう。



第4回表彰式風景 2015年2月17日 於：東京ビッグサイト

2011 年度から、政府の観光政策を支援する意味で、全国の専門学校・短大・大学の学生を対象に、日本の観光事業に対する論文を作成してもらい、業界の有識者からなる審査委員会を経て、優秀な論文に総額 100 万円を賞金として授与する事業を開始しました。全国の学生が具体的な課題を発見し、8,000 ～ 12,000 字の論文作成の過程で、強い興味関心を高めるよう、啓蒙することを狙いとしています。

課題は、①観光立国で日本を元気にする方策、②観光資源保護におけるナショナルトラスト活動の役割、③我が国のMICE(マイス)競争力強化の三つから選択するもの。

このコンテスト実施に際しては、主催：(一財)日本ホテル教育センター、共催：(公財)日本ナショナルトラスト、協賛：(一社)全日本シティホテル連盟、後援：国土交通省観光庁、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本ホテル協会、(一社)日本旅館協会。審査の結果、最優秀賞(観光長官賞)50 万円 1 本、優秀賞(日本ナショナルトラスト会長賞、全日本シティホテル連盟会長賞)25 万円 2 本が授与され、その論文は業界誌や(一財)日本ホテル教育センターのネット上に公開されています。

2011 ～ 2015 年度の 5 年間に提出された論文は 250 本(専門学校 34、短大 5、大学 211)、学校数 123 校(専門学校 7、短大 3、大学 113)、継続提出校を除くと全体で 87 校となります。グループ作成が多いので、少なくとも 400 人以上がこの観光論文作成に関与、それなりに多くの学生に興味関心を抱

いてもらい、約 6 ヶ月の歳月を費やし観光事業について思考を巡らしてもらったことになります。

これまでの観光政策も過去からの延長上に、日本を中心に作られてきた傾向もあり、今後の観光立国を推進するに当たっては、若い世代の全く新しい視点から、そして海外から来日する様々な外国人の視点から、日本の保有する気候、自然、文化、食事などの観光資源を再考して、国内の観光環境を整備し、海外に向けたマーケティング活動に入る時代を迎えています。

観光立国に向けては成長途上にありますので、財団を支援する本校の立場からは、全国の学生が観光事業への関心がより一層高まり、さらに斬新なアイデアが寄せられることを期待しています。



満畑宏観光長官を迎えての第一回表彰式、2012年2月21日 於：東京ビッグサイト
最優秀賞：明治大学、優秀賞：東京YMCA国際ホテル専門学校、立教大学

2015年度 第24回弁論大会を開催

～10名の弁士 最高のパフォーマンスを披露～

－ 最優秀賞 日本語部門 渡邊里佳さん 英語部門 上野千晴さん －

第24回弁論大会を11月11日、なかのZEROホールで開催しました。在校生約900名、ホテル総支配人の方々などのゲスト審査員、内部審査員、教職員、など約950名の聴衆を前に、総勢26名が参加した予選を通過した日本語部門5名、英語部門5名、計10名の弁士が熱弁を振りました。

弁論大会は「表現力、語学力の向上」「同世代間の考え方・価値観の共有」などを目的として開始され、今回で24回目を迎えました。本大会は、学内レベルの大会としては類を見ない規模で、外資系ホテル総支配人や業界企業トップの方々を迎えて実施されています。



弁士紹介（発表順・敬称略）

■日本語部門

| | | |
|----|------|------------------------------|
| 1年 | 宮本侑果 | 繋ぐボタン |
| 1年 | 加藤凌次 | 欲を満たす |
| 1年 | 浅野清楓 | チップ制の復活でサービス業界に活力を |
| 2年 | 鈴木千佳 | 「思い」を「遣る」ことで生まれるもの |
| 2年 | 渡邊里佳 | 全ては「誰か」のために～コーヒーという共通言語を使って～ |

■英語部門

| | | |
|----|------|--|
| 2年 | 富岡春菜 | Girls-Power |
| 2年 | 上野千晴 | New Practical Guidance for Refugee |
| 1年 | レトオン | The Importance of Hospitality |
| 1年 | 西住大 | Airbnb: New Ideas for the Future of the Hotel Industry |
| 2年 | 齋藤愛美 | Beyond the Service |

日本語部門最優秀賞は、夜間部ホテル科2年渡邊里佳さんの「全ては「誰か」のために～コーヒーという共通言語を使って～」、優秀賞は夜間部ブライダル科2年鈴木千佳さんの『「思い」を「遣る」ことで生まれるもの』。英語部門最優秀賞は、昼間部英語専攻科2年上野千晴さんの「New Practical Guidance for Refugee（ホテル業界からの新たな難民支援）」、優秀賞は夜間部ホテル科2年齋藤愛美さんの「Beyond the Service（『サービスを越えて』）」が選ばれました。



第53回技能五輪全国大会に在校生が出場

～ホテル科2年 寺島唯斗さん～



第53回技能五輪全国大会が12月4日、幕張メッセイベントホールで開催し、翌日5日に学校法人後藤学園 武蔵野調理師専門学校で競技審査が行われました。

レストランサービス部門では、全国のホテルから15名が培った技術を競い合いました。今回の大会では15名中、本校の夜間部ホテル科2年生寺島唯斗さんは唯一の学生の出場者。このような状況の中でも寺島さんは規定課題を正確かつ手際よく行なっていました。

何度も練習したローストチキンのデクパージュでは鶏の部位をしっかり理解したうえで2名分を綺麗に取り分けていました。

今回の大会の成績発表では残念ながら入賞することは出来ませんでした。しかし、卒業してから就職先のホテルの現場で経験を積み、さらなる活躍が期待されます。



第33回 全国専門学校英語スピーチコンテスト

～ブライダル科2年 富岡春菜さんが出場～

第33回全国専門学校英語スピーチコンテストが12月7日、中央区立日本橋公会堂で開催され、本校から昼間部ブライダル科2年生富岡春菜さんが出場しました。

このスピーチコンテストは、全国語学ビジネス観光教育協会、全国専修学校各種学校連合会、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団が主催、文部科学省、毎日新聞社等が後援団体となっている大会です。

本大会では、全国専門学校から選ばれた11校11名の代表者が各々のテーマに沿って英語で発表し、自身の経験にとらわれず、国際的テーマや現在国内で注目されている課題などをテーマにスピーチが行われました。

富岡さんは11月11日に実施された「第24回弁論大会」にも出場しています。



2015年度「和食体験&ホテル見学」を実施 ～ 会席料理を体験し、自国の食文化の理解を深める～



サービススタッフより作法を学ぶ

昼間部1年生対象の「和食体験&ホテル見学」を実施しました。この「和食体験&ホテル見学」は、実際のホテルの和食店舗で会席料理を体験し、和食への関心を促すとともに、就職観を養う学校行事です。

また、各自がお客さまの立場で施設を見学することで、客観的にホテルを見学し「将来ホスピタリティ産業に就こうとする自分には何が不足しているのか」「就職はどうするのか」を考えることも目的としています。

2013年に「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録決定され、「和食」をはじめとした日本の食文化が注目されています。日本の食文化を次世代へ継承するための活動が展開される中、本校でも「和食体験」を通じて、日本の食文化の理解を深めています。

2013年に「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録決定され、「和食」をはじめとした日本の食文化が注目されています。日本の食文化を次世代へ継承するための活動が展開される中、本校でも「和食体験」を通じて、日本の食文化の理解を深めています。



ホテル見学 パークハイアット東京



料理の説明をする卒業生 左から、倉さん、児玉さん
東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾートにて



提供する料理からサービスまで全てを学生行う

レストランマネジメント課題発表会を実施 ～ 1年間の総まとめとしての課題発表会～



昼間部2年生ホテル科・英語専攻科のレストランマネジメントの授業において、1年間の総まとめとしての課題発表会を行いました。

この発表会の場で実際にレストランパーティーを企画・運営することでレストランを運営するために必要な考え方を改めて理解する機会になったようです。また同時に、課題を通してクラスの仲間とのチームワークやコミュニケーションの大切さを共有することもできました。

パーティーに出席した教職員は「入学直後のときと比較すると学生のサービス力に成長を感じた」と評価するとともに「経験したことをいろいろな場面で活かして欲しい」とエールを送っていました。

Skal Club 特別講義を実施 ～ 英語専攻科2年生～

Skal International Tokyoメンバーである Marjorie L. Dewey 氏が11月30日に来校し、ヤング・スクール・クラブのメンバー英語専攻科2年生対し、Skal Clubについて、そして来年4月から社会人として観光産業に携わる人材に何を期待しているかなどの講義を行いました。



左より、石塚校長、Dewey氏、江口先生

Dewey 氏の講義では、ヤング・スクール・クラブのメンバーである学生に、メンバーとしてこのグローバルネットワークをどのように活用していくか、また、スクール・クラブのメンバーにお会いした時には自分からどのように動いていくべきかなどのアドバイスがありました。

2015年度同窓会理事任命式を挙行 ～ 新理事13名が誕生～

2015年度同窓会理事任命式を12月8日に挙行了しました。各クラスから任命された同窓会理事に、石塚勉校長より委嘱状が手渡されました。卒業後、同窓会の窓口として、活動への参加、協力等を行っていきます。

石塚校長は「若くして理事になることは名誉で誇りを持ってもらいたい。卒業後、ホテル・ブライダル業界で働く上で、ネットワークがとても大事になってくるので、同窓会を活用してほしい。」とメッセージを送りました。



委嘱状を手に 理事の皆さんと教職員

サークル活動=レストラン研究会 ～ クリスマスパティーを校内で実施～



クリスマスケーキも手作り

レストラン研究会の活動は、ホテルのレストランの見学と食事会の他に、和食、洋食、中華のメニューを簡単にアレンジした料理を顧問の川辺先生の指導を受けながら、皆で作りと、試食する活動を行っています。また、発表の機会として、サマーパーティーとクリスマスパーティーを開いています。

クリスマスパーティーでは、クリスマスケーキ、オリジナルカナッペ、チキンハーフ焼、煮込みハンバーグ、アジアチキンライス、など、全員で腕を振っていました。部員は準備から後かたづけまで真剣に取り組んでいました。

また、今年の活動では、フレンチトースト、マカロニグラタン、パエリア、チキンカツレツ、ミートボールのトマト煮、和風麻婆豆腐、ポークしょうが焼き、チジミ、手作り餃子の作り方を覚えました。



顧問の川辺先生を囲んで

身嗜み・立居振舞い・ヘアメイク講座を実施 ～就職活動に向けて 1年生対象～

ホテルやブライダル企業などへの就職をめざし、これから本格化する就職活動に向けて、1年生を対象に就職ガイダンスー身嗜み・立居振舞い・ヘアメイク講座を実施しました。



【女子対象ーヘアメイク講座】

就職活動において、良い印象を与えるヘアメイクを学びました。

普段のヘアメイクとは違う点や厚すぎず自然で優しい印象を与えるテクニックを学び、モデル役の学生はメイク後の自分の姿を見て驚きの表情でした。

【男子対象ー身嗜み・立居振舞い講座】

髪型、服装などの身嗜みについて講義を受け、隣同士の学生と身嗜みのチェック。また、面接時の立居振舞いを演習を交え学びました。背筋一つとっても、角度の違いで大分印象が変わってしまうことに気付いたようでした。



女子対象ーヘアメイク講座



男子対象ー身嗜み・立居振舞い講座



就職ガイダンスを実施 ～夜間部1年生～

夜間部ホテル科、ブライダル科1年生を対象とした就職ガイダンスを1月8日に実施しました。今回の就職ガイダンスでは、ホテルやブライダル企業の人事を担当されている方々にお越しいただき、就職活動における基本的な活動方法や業界研究、そして各業界、企業が求める人材像などを理解することを目的としています。学生自身が卒業後の進路を具体的に考え、職業観を養う機会にもなります。

参加された、パークハイアット 東京、帝国ホテル 東京、ヒルトン東京お台場、株式会社テイクアンドグヴィ、ニューズの人事・採用を担当されている方々による講話では、ホテル・ブライダル業界の今後の展望、各業界が求める人材像、選考試験でのチェックポイント、この時期にやっておくべきことなどのテーマを中心にお話いただきました。



模擬面接の様子

トピックス

ヤング・スクール・クラブメンバーグアムで研修 ～前アジア地区会長Gerald Perez氏に招待される～



Perezご夫妻と会食の様子
左前から、上野さん、阿部さん、江口先生

Skal International 前アジア地区会長 Gerald Perez 氏の招待で、12月4日～6日の期間に Young Skal メンバー初代会長である英語専攻科2年阿部万紗未さんと上野千晴さんの2名がグアムを訪問しました。

滞在中は、グアム大学訪問や観光地であるタモンエリアから南のメリッツ地区までのグアム島の南半分の地域を観光しました。南の地区への訪問は、グアムの違う側面、そして今後の観光産業にどのように活かしていけるのか考えさせられました。観光産業が主であるグアム島で、どのような取り組みをすればより多くの観光客が訪れるか Perez ご夫妻と学生らは、話し合っていました。

学生らはこの研修を通して、グアム島の文化や観光産業について、さらに環境問題についてまで考えることが出来たようでした。

英誌で本校が紹介されました ～MONOCLE(モノクル)～

世界を舞台に活躍するビジネスマンや企業家へ向け、独自の視点で国際情勢、ビジネス、カルチャー、デザインの最新情報を発信する英情報誌「MONOCLE (モノクル)」で本校が紹介されました。

昨年12月に、ホスピタリティをテーマに世界から3つのホスピタリティスクールを紹介するため、本校に取材班が来校し、石塚校長から本校の歴史や教育理念などを説明しました。来校時には施設見学や在校生インタビューを行い、取材内容が2016年2月号に掲載されました。

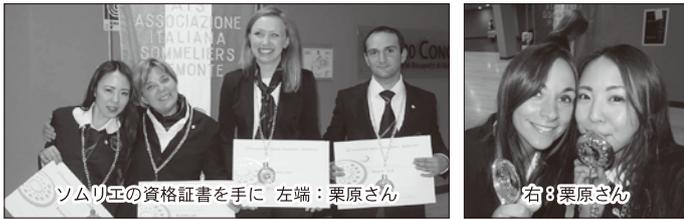
記事は、MONOCLE のウェブサイトにも掲載されていますので、ご覧ください。

<http://monocle.com/magazine/>



～ J H S 同 窓 会 便 り ～

イタリアで「ソムリエ」の国家資格を取得 ～ 栗原真美さん(2010年卒業)～



ソムリエの資格証書を手に 左端：栗原さん

右：栗原さん

イタリアでソムリエの資格を取得し活躍している卒業生の栗原真美さんが一時帰国し、来校しました。

栗原さんは2010年に卒業後、海外ホテル研修生制度を利用し、スイス・チューリッヒにある Best Western Hotel Airport で1年間研修を行い、研修修了後はイタリアのレストランに活躍の場を移し、レストランサービスの仕事を体験。

イタリアでの生活で、栗原さんは食事やワインに魅かれ、ソムリエの資格に挑戦。レストランで働きながら、定休日には学校に通い、専門的な知識をイタリア語で学び、見事合格しました。

卒業生が準優勝・敢闘賞受賞 ～ 第53回技能五輪全国大会～

12月4日、5日に行われた、第53回技能五輪全国大会卒業生の佐々木綾香さん(2014年卒業)、関舞子さん(2014年卒業)が出席。佐々木さんは準優勝、関さんは敢闘賞を受賞しました。なお、この大会には、ホテル科2年 寺島唯斗さんもレストランサービス部門に出場しています。



左から、加上先生、佐々木綾香さん(本大会準優勝)、関舞子さん(本大会敢闘賞)、中島先生、下田先生、後列：島田先生

親睦ゴルフコンペを開催 ～ JHSゴルフクラブ発足に向けて～

幅広い年代の卒業生と教職員の交流及び卒業生相互の交流を深め、情報交換、親睦、ネットワーキングを図ることを目的に2016年4月1日に「JHSゴルフクラブ」を発足します。それにさきがけ、11月15日、千葉県：市原ゴルフクラブ 市原コースにおいて卒業生及び教職員有志による親睦ゴルフコンペを開催しました。

クラブ初代会長の乙部彩佳さん(2010年卒業)の始球式で5組18名のコンペをスタートしました。小雨交じりの中、年代を超えて和気藹々、楽しみながらプレーすることができました。



参加者の皆さん
前列右から4人目：初代会長の乙部彩佳さん

スコール世界大会2015「特別功績賞」を受賞 ～ ヤング・スコール・クラブ・ジャパン発足が評価される～

スコール・クラブ世界大会2015が10月28日～11月1日に、スペイン、ホテル・コスタ・デル・ソルにおいて開催され、約60か国から300人が出席し、本校からスコール日本会長でもある石塚勉校長が参加しました。

大会は前夜祭に始まり、開会式、本部役員選挙を含む総会、セミナー、パブロ・ピカソの生地であるマラガ市の観光、会長主催の晩餐会などが行われました。

今年度、本校はヤング・スコール・クラブに関連し、二度の栄誉を得ました。6月フィリピンのマニラで開催されたスコール・アジア大会で、「アジア地区ベスト・ヤング・スコール・クラブ2015」を受賞、そして今回のスコール世界大会2015では、「特別功績賞」を受賞しました。



サリー・シン会長から
「特別功績賞」を受賞



6か国から参加している
ヤング・スコールの皆さん

◆◆◆ 同窓会事務局からのお知らせ ◆◆◆

◇◇ 学校創立45周年記念同窓会のご案内 ◇◇

本校は1971年、プリンスホテルスクールとして創立、業界および卒業生の皆様のご支援、ご協力により今年2016年で45周年を迎えることになりました。合わせて、一般財団法人日本ホテル教育センターも創立40周年を迎えます。

これを記念して、下記のとおり全体同窓会を開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご出席ください。

主催：学校法人日本ホテル学院・
専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人日本ホテル教育センター
共催：専門学校日本ホテルスクール同窓会
期日：2016年11月11日(金)
会場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

■お問い合わせは同窓会事務局まで
担当：黒須 TEL:03-3360-4631 E-mail:kurosu@jhs.ac.jp

◇◇ JHSゴルフクラブの会員募集 ◇◇

2016年4月1日、卒業生および教職員による「JHSゴルフクラブ」が発足します。年数回のゴルフコンペや懇親会を通じて相互の親交を深めていきたいと思っております。普段ゴルフされている方、これからゴルフを始めようと思っている方、ぜひともご参加ください。

■お問い合わせは同窓会事務局まで
担当：島田 TEL:03-3360-8581 E-mail:shimada@jhs.ac.jp
川辺 TEL:03-3360-8231 E-mail:kawabe@jhs.ac.jp



2006年 設立30周年記念 鏡割り風景

第5回 学生観光論文コンテスト 表彰式を開催 ～賞金総額 100万円 受賞者決定～

一般財団法人日本ホテル教育センターは、一般社団法人全日本シティホテル連盟の協賛を受けて、公益財団法人日本ナショナルトラストと共催で昨年末、全国の大学・短期大学・専門学校の学生を対象とした「学生観光論文コンテスト」を昨年に引き続き実施、最優秀賞1編、優秀賞2編、合計3編、賞金総額100万円の受賞者が決定、2月16日、東京ビッグサイトにて表彰式を開催しました。

最優秀賞【観光庁長官賞】

東洋英和女学院大学 国際社会学部国際社会学科3年
長谷川かおりゼミ
長谷川美咲（代表）・斎藤美波・深田あかり・武田ありさ
テーマC「産学連携によるMICE促進プログラム」

優秀賞【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】

大阪外語専門学校 国際観光・ホテル・ブライダル科1年
新居美鈴・辻あゆみ
テーマB「資産価値の認識を目的とした観光コースの作成など」
- 語学・観光系専門学校との実務レベルでの「産学連携」の提案 -

優秀賞【一般社団法人全日本シティホテル連盟会長賞】

明治大学 政治経済学部経済学科 応用マクロ・ミクロ経済学ゼミ3年
池野秀磨（代表）・米永恭太郎
テーマC「社寺のMICE関連利用拡大を促進・支援する組織の設立」
- 魅力的なユニークメニューの活用でMICE競争力を強化する -



第5回学生観光論文コンテスト表彰式
受賞者と審査委員の皆様

最終審査に残ったファイナリスト8編の論文はWebサイトにて公開しています。
担当：育事業室 浅山恵一 TEL: 03-3367-5663
<http://www.jec-jp.org/>



明治記念館にて 参加者の皆さん

日本旅館国際女将会 12月定例会 設立20周年記念式典を開催

2015年12月17日、設立20周年を迎えた「日本旅館国際女将会」は定例会に合わせて記念式典を明治記念館にて開催、会員及び関係者40名が参加しました。

記念式典では、女将会の設立者で当財団の石塚勉理事長が20年間の歩みをまとめた資料と画像をパワーポイントで紹介、海外での活動として、1995年のパリを皮切りに、毎年世界各国を訪問、これまでに17カ国60都市で日本旅館と温泉文化をPR、現地の新聞・雑誌に取り上げられ、出演したテレビ局は45局に上る事を写真で紹介、国内の活動では、有識者を招いての勉強会を実施、2006年には、総理官邸、国土交通省などを訪問、当時の小泉総理、北側国土交通大臣、二階経済産業大臣に要望書を提出、観光・宿泊産業への要望を伝え、その後、2008年10月に観光庁が設置されるなど、これまでの成果を説明しました。

遠藤利明五輪担当相を表敬訪問

また、当日は、女将会会員8名、関係者3名で遠藤利明 東京オリンピック・パラリンピック担当相を表敬訪問、2020年の東京オリンピックでは、「訪日外国人に日本旅館の素晴らしさを知って頂きたい。」と話し、「民泊に頼らなくても地方の旅館を含めれば宿泊客を受け入れの余地は十分ある。」などと訴えました。



遠藤利明、東京オリンピック・パラリンピック担当相を囲んで

日本・インドネシア文化経済観光交流に参加 ～日本から1,100名が参加～



インドネシア
日本大使公邸でのレセプション

11月22日～25日、自民党総務会長の二階俊博・日本インドネシア国会議員連盟会長が1100名からなる大型の訪問団を結成しインドネシアをに訪問しました。この交流団には、当財団から石塚勉理事長、大堀貴弘統括本部長が参加しました。



インドネシアの要人と
インドネシア日本大使公邸・レセプションにて

期間中、ジョコウイ大統領をはじめ、インドネシア経済界の要人約200名を招き、ジャカルタの駐インドネシア日本大使公邸にて大使主催のレセプション、ジャカルタにて日本政府観光局主催のシンポジウム、インドネシア日本友好協会主催の夕食会などが開催されました。

新刊のご案内

「マイス・ビジネス入門」
MICEの概要を分かりやすく整理し、実務に使えるノウハウをまとめた本邦初のMICEビジネス書



A5判
200ページ
定価3,000円（税別）
販売：プラザ出版
<http://www.plazapub.co.jp>
※書店でもお求めになれます

編集責任者：石塚 勉
編集担当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231 kurosawa@jhs.ac.jp